

# 日本版EHR フィールド1（処方情報の電子化・医薬連携）

## 「処方情報の電子化・医薬連携実証事業」 事業概要

株式会社STNet

# 1. 前回委員会からの更新点

○ **参加団体数**:調剤薬局について1薬局追加参加

○ **情報開示施設の数**:運用開始時点(10/25) 医療機関1(※)、薬局2~3、自治体1

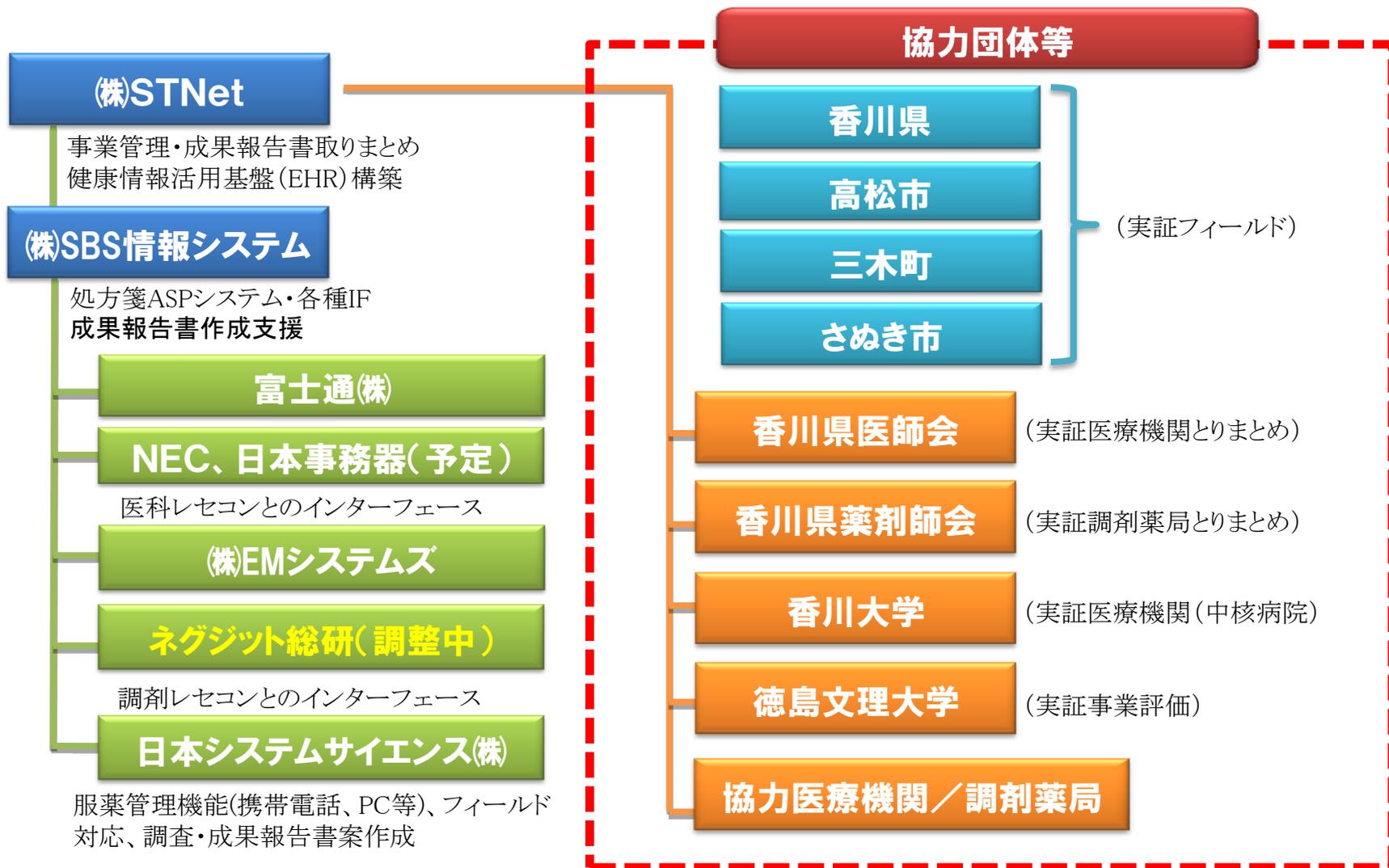
※本施設数は、本事業において処方情報の連携を実施する施設数を記載しており、参加病院・診療所のほとんどは「かがわ遠隔医療ネットワーク(K-MIX)」による医療情報連携をすでに実施しております。

参加団体種別	参加団体名
病院 (7施設)	香川大学医学部附属病院、香川県立中央病院(調整中)、高松赤十字病院、さぬき市民病院、土庄中央病院、キナシ大林病院、久米川病院
診療所 (4施設)	小西耳鼻咽喉科医院、NTT西日本高松診療所予防医療センター、津田診療所、多和診療所
調剤薬局 (現在約40施設)	アイ調剤薬局、(有)アインス林町薬局、オカウチ調剤薬局、岡本調剤薬局、(有)片山薬局、(有)かやまち調剤薬局、きむら調剤薬局、クスリのユタカ、(有)久間薬局、くま薬局、久間薬局、さくま調剤薬局、さくら調剤薬局、NP調剤薬局、中央通り薬局、(有)辻上薬局、ツヤマ薬局、(株)中山スズラン堂薬局、ライム調剤薬局、ひだまり調剤薬局、ホワイト薬局、(有)松村薬局、(有)妙見屋 妙見屋薬局、レモン調剤薬局、(有)橋本薬局、ジオ薬局、なの花薬局、レディ調剤薬局、メディコ21薬局
自治体(実証フィールド)	香川県高松市、さぬき市、三木町

# 1. 前回委員会からの更新点

## ○実証実験体制図

調剤レセコンメーカーの新たな参加について調整中です。



# 2. システム稼働状況

## ○ 稼働開始までの日程

### ◇ システム構築

- ・10月5日: システムの構築及び全体テスト完了
- ・10月17日~25日: 実地テスト

### ◇ 患者第1次募集(10月21日まで)

- ・募集については実証期間中随時行う。

### ◇ 実証開始

- ・平成23年10月25日

### ◇ 実証開始当初の参加機関、参加者数

- ・医療機関1、薬局3、患者十数名程度にて開始し、年内目途に募集医療機関、薬局の順次参加を目指す。

## ○ 参加者に対する周知・広報方法

### ◇ 事業説明募集パンフレット、実証事業ポスター(パネル)による周知

### ◇ 医療機関処方箋FAXコーナーにて説明員による事業説明(実証開始初期)

### ◇ 医療機関、調剤薬局による説明・募集



## 2. システム稼働状況

### ○ 地域協議会等の開催状況

#### ◇第1回地域協議会

- ・平成23年8月30日(火)サンポート高松にて開催  
実証事業の概要、実証するシステムの構築案等を説明・協議した。
- ・次回協議会平成23年11月開催予定

#### ◇実行委員会

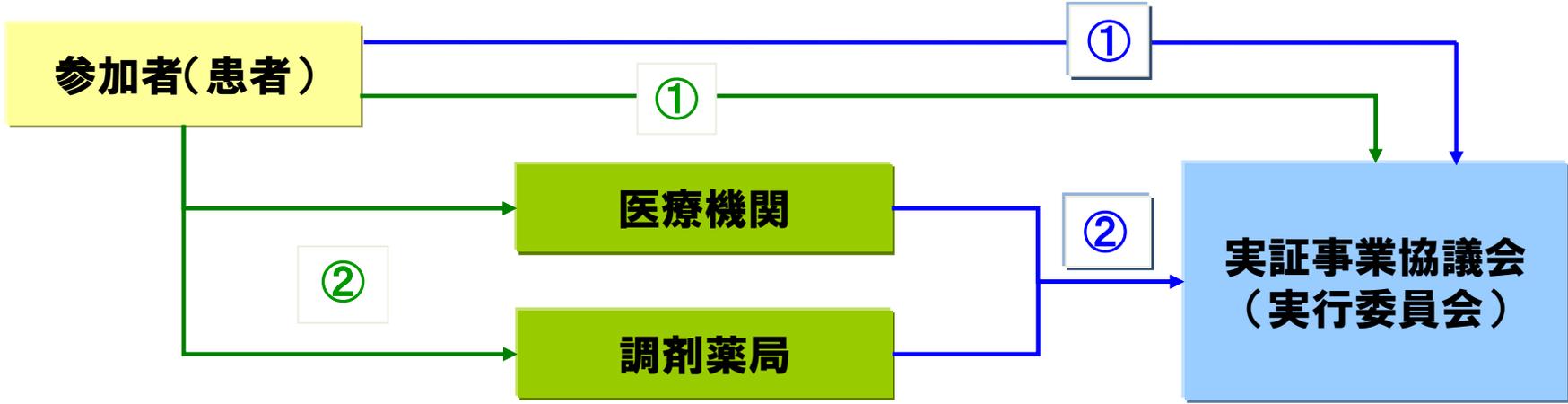
- ・平成23年6月4日(第1回)～9月14日(第6回) 計6回開催  
主に、システムにおける構築内容及び運用方法の検討を実施。

### ○ 地域協議会等での指摘について

- ◇医療機関から送信される付帯情報(検査値、病名、アレルギー等)について、どの程度の情報を出すか。特に病名については出しにくい状況もある。
- ◇薬局側のメリットは十分にあるため、薬剤師の参加意識は高いように思うが、調剤レセコンメーカーの協力が更に必要ではないか。
- ◇薬局の参加拡大は対応する調剤レセコンの増と、日頃処方箋を多く受けている医療機関の参加となるため、医療機関への参加打診方法について工夫が必要ではないか。
- ◇医療機関側は、調剤実施結果及び患者による服薬情報の確認ができるが、さらなるメリットを検討する余地があるのではないか。

# 2. システム稼働状況

## ○ 実証事業における参加申込及び参加者(患者)の同意取得方法



		参加者(患者)	医療機関	調剤薬局	実証事業協議会
実証参加(青矢印のもの)		①実証事業協議会宛に参加申込書送付 (基盤カード発行及びおくすりカレンダー参加申込み)	②実証事業協議会宛に参加申込書送付 (処方箋ASPシステム参加申込み)	同左	各参加申込み管理
参加者(患者)に対する個人情報取扱いにおける同意取得方法  (緑矢印の部分)	おくすりカレンダー	①おくすりカレンダー利用規約、パンフ等に記載の個人情報取扱い方法に同意の上申込み	/	/	参加申込書類及び実証事業説明による同意取得
	医薬連携	②同意書面に署名	実証事業ポスター掲示による包括同意取得 ②同意書の提示・保管	同左	処方箋ASPシステム利用規約にて、必要時に医療機関・薬局による同意取得を明記

## 2. システム稼働状況

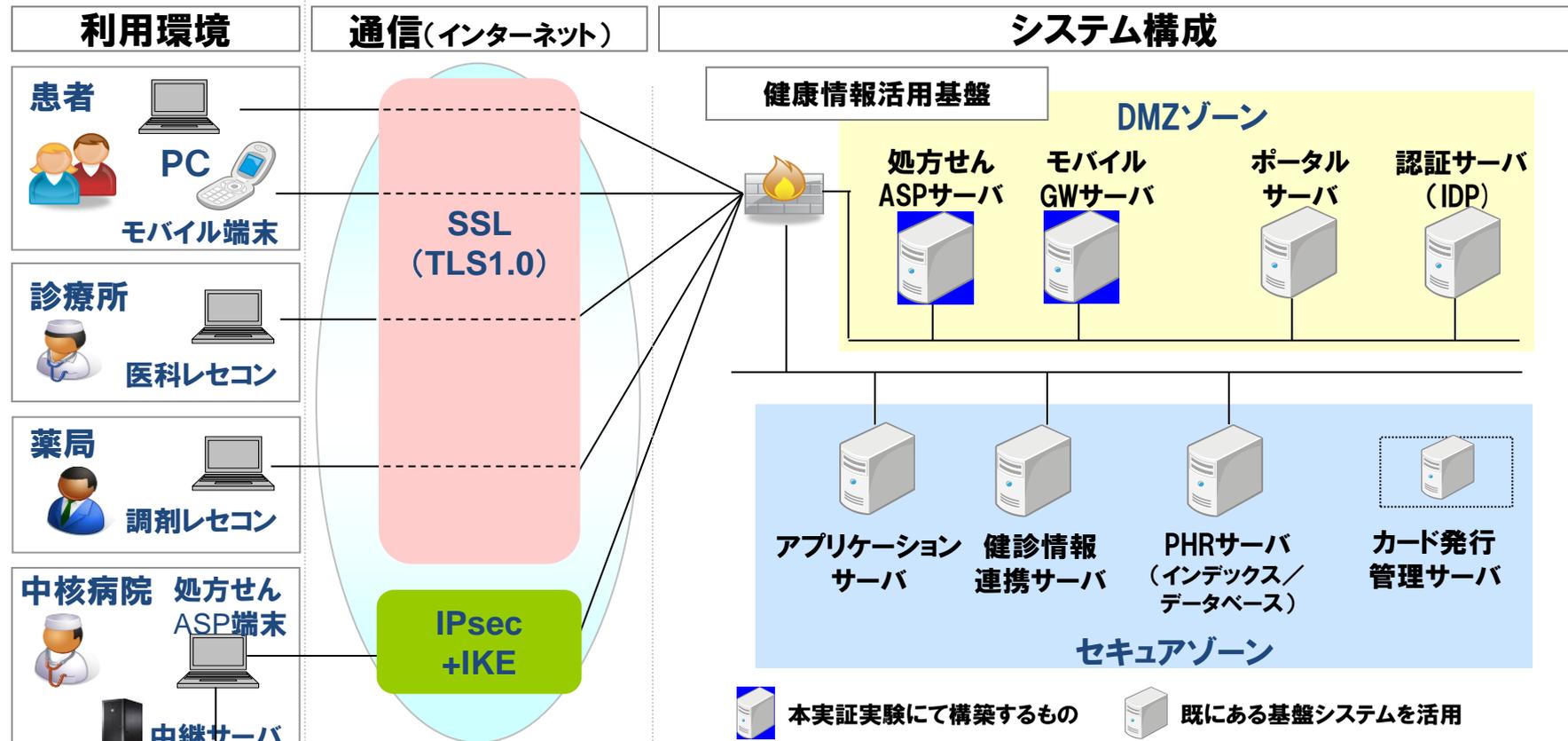
### ○ 取り扱う情報

取り扱う情報	内容	登録の主体	閲覧の主体
基本情報	本実証実験に参加頂いた、患者、医師、医療従事者等の本人識別を行う基本4情報と各種ID	利用者本人 (申請書、電子カルテ、レセコン)	薬局、医療機関、患者 (処方せんASP、PHR)
処方指示情報	医師が処方指示した内容 (処方せん)	医療機関 (電子カルテ、レセコン)	薬局 (処方せんASP)
処方実施情報	薬局が処方指示に従って調剤した内容	薬局 (調剤レセコン)	医療機関、患者 (処方せんASP、PHR)
付帯情報	処方指示情報に付帯する当該患者の病歴、アレルギー、禁忌、検査結果等の情報	医療機関 (電子カルテ、レセコン)	薬局 (処方せんASP)
健診情報	本実証実験に参加頂いた利用者(患者)のうち、同意が得られた方の特定健診の情報	自治体 (国保システム)	患者 (PHR)

※前回委員会提出分と変更点はありません。

# 2. システム稼働状況

## ○ システム構成



### <セキュリティ確保策について>

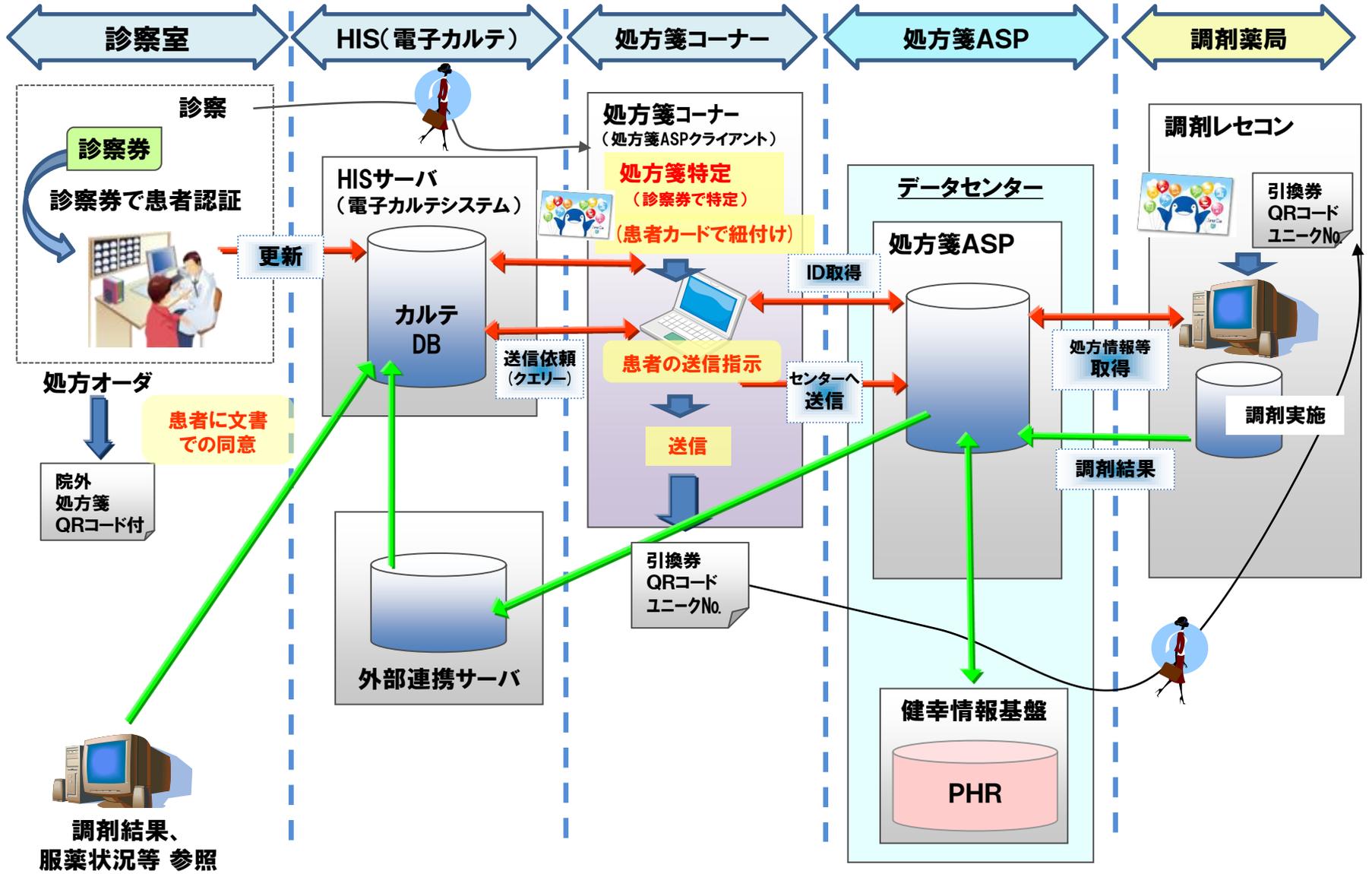
- 通信セキュリティ

医療機関等の環境を勘案し、SSL(TLS1.0 3DES、SHA-1以上の暗号強度)を採用。ただし、中核病院については、HISとの連携が必須のため、IPsec+IKEでのVPNとし、健康情報活用基盤サーバ群との接続について、IKEの鍵交換による接続先認証の上、暗号化通信を行う手法としました。
- 利用端末の認証

各利用環境の認証について、患者自宅は健康情報活用基盤の利用者カードによる認証とし、携帯端末からの接続は、利用者カードと携帯端末の端末固有番号を関連付けて制御し、特定端末以外の接続制限をかけております。医療機関、薬局については、現地操作端末にクライアント証明書を導入し、携帯端末と同様に特定端末限定の運用としております。

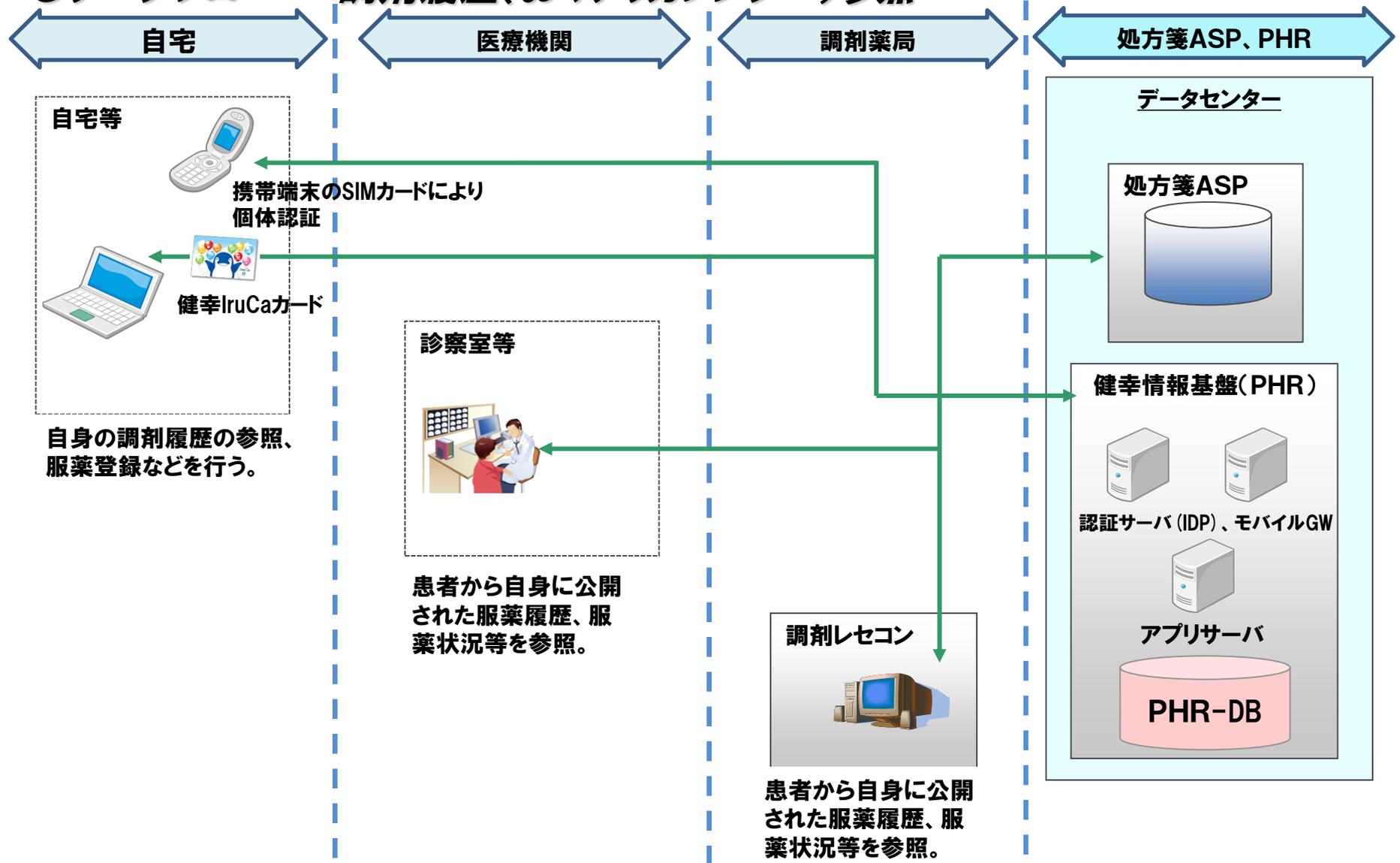
# 2. システム稼働状況

○データフロー ～処方箋の発行から調剤実施、服薬結果の返しまで～

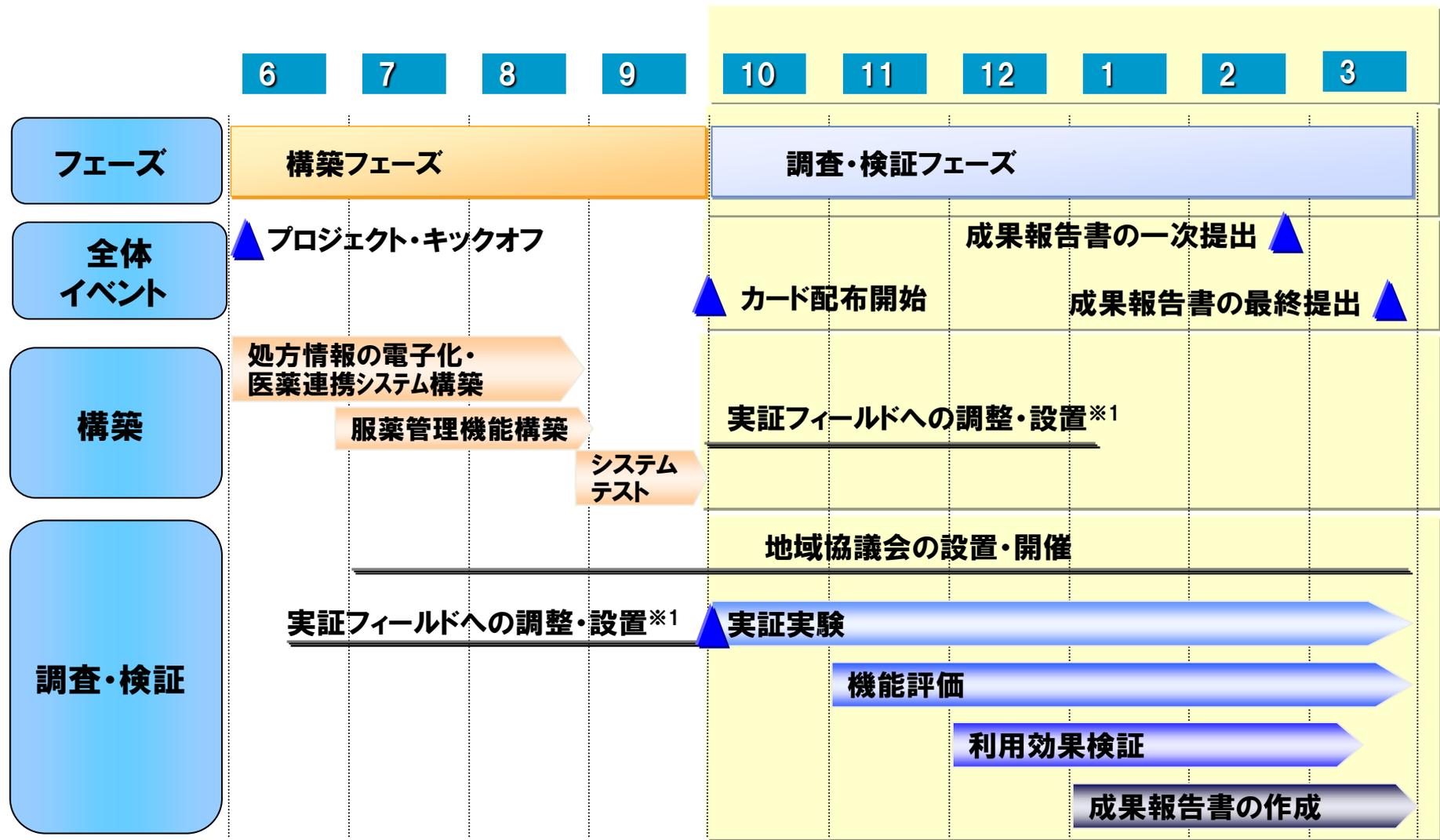


# 2. システム稼働状況

## ○データフロー ～調剤履歴(おくすりカレンダー)参照～



# 3. 今後のスケジュール



※1: 参加機関との調整、各種申請資料等の検討・作成、ICカードの配布

# 4. 実証における利用状況 ～病院・調剤薬局～



## 病院

### <診察室>



処方指示情報登録の際  
 附帯情報等の送信を選択

### <処方箋FAXコーナー>



処方情報を選  
 択し、送信



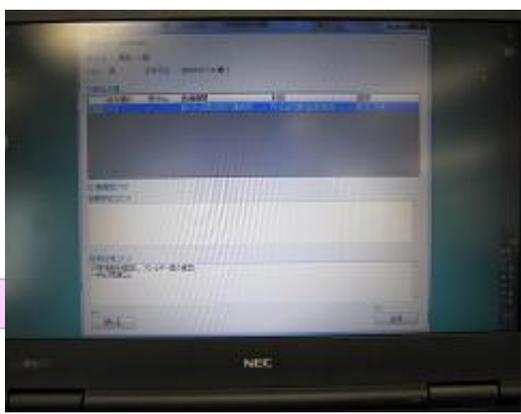
引換票の発  
 行

## 調剤薬局

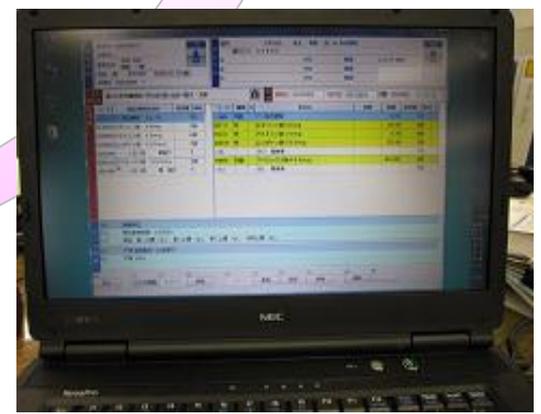


処方箋ASP 調剤実施情報表示		調剤実施情報	
処方箋ID	20090312	調剤実施ID	17033
処方箋発行日	2010年01月05日	調剤実施日	2010年01月05日
処方箋発行薬局	三好市総合病院	調剤実施薬局	三好市総合病院
処方箋発行医師	三好市総合病院 内科	調剤実施医師	三好市総合病院 内科
処方箋発行薬剤師	三好市総合病院 薬剤科	調剤実施薬剤師	三好市総合病院 薬剤科
処方箋発行薬剤師	三好市総合病院 薬剤科	調剤実施薬剤師	三好市総合病院 薬剤科
処方箋発行薬剤師	三好市総合病院 薬剤科	調剤実施薬剤師	三好市総合病院 薬剤科
処方箋発行薬剤師	三好市総合病院 薬剤科	調剤実施薬剤師	三好市総合病院 薬剤科

処方指示と調剤実施の変更内容  
 を容易に確認



疑義照会・服薬指導コメントを  
 添え調剤実施情報を送信



受信した処方指示情報をもと  
 に調剤を実施

# 4. 実証における利用状況 ~病院(診察室)【画面イメージ】~

## <処方指示情報登録画面>

処方指示 - テスト 007(000000007)

処理(P) 編集 その他処理

院外処方 院外麻薬処方 院内処方 院内麻薬処方 アレルギー有

薬品

内服 外用 自己注 処方歴

セット セット修正 ▼ 総合録

処方箋コメント

1直上の1割のみ粉砕化	原液投与
薬名記入をお願いします	一回0.2グラムで
1/2錠に分割して下さい	減量中
不足分	本人渡し
術後	追加処方
シロップ割はなるべく最小量で	賦形剤はなるべく最小量で
散剤の賦形剤なし	1直上の1割のみ1回1粒のみ
薬局へ: 服薬指導をお願いします	薬局へ: お薬説明をお願いします
薬局へ: 吸入指導をお願いします	

用法

1日3回 1日2回  
1日1回 1日4回

内服用法(薬)  
内服(頓服: 1回量)  
トロピド(1日量)  
トロチ(1日量)

実薬コメント

朝昼夕食後  
朝昼夕食前  
朝昼食後 眠前  
朝昼食前  
朝昼食時  
朝昼食前 眠前  
8時間毎

医師の指示通り

その他: 処方箋・薬研コメントが必要

患者情報

保険 ▼ 政府管本

身長 ▼ 155.000 cm 測定日 2006/08/03 体表面積 1.362 m<sup>2</sup>  
体重 42.000 kg 測定日 2006/08/03

を1日量で入力して下さい。  
※3文字以上入力して検索してください  
○ 前方一致 ○ 部分一致 キーボード 投与日数一括変更

Rp	選択薬品	数量	単位	
1	ザイロリック錠 100mg	4	錠	変更
	・・・1日2回 朝夕 食後	30	日分	変更
				2011/08/10(水)
2	コニール錠 4mg	2	錠	変更
	・・・1日2回 朝夕 食後	30	日分	変更
				2011/08/10(水)
3	オルメテック錠 20mg	1	錠	変更
	・・・1日1回 朝 食後	30	日分	変更

お薬相談希望あり 後発薬品 ○ 既薬可 ○ 変更不可 □ 緊急 □ 自己管理

有効期限 ▼ 2011/08/13(土) □ 入院時 □ 服用時期面 □ 強化する  
長期旅行・長期休職の水(外来)

プリーカ □ 一酸化(院外処方のみ)

(全角25文字まで)

処方箋情報の電子出力データ選択画面を起動する

確定 閉じる

処方指示情報登録の際、附帯情報等の送信を選択

## <送信する附帯情報等の登録・選択画面>

処方箋出力データ選択画面

処方箋出力データ選択

処方箋の付加データとして院外薬局に提示(出力)するデータを選択して下さい。

アレルギー-薬剤

出力	アレルギー-薬剤	発現(いつ頃)	症状	中止	禁忌
<input checked="" type="checkbox"/>	ハファリンなど		喉気	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	ハファリン錠 81mg			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

アレルギー-食物

出力	アレルギー-食物	発現(いつ頃)	症状	中止	禁忌
<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

その他アレルギー

出力	アレルギー	発現(いつ頃)	症状	中止	禁忌
<input checked="" type="checkbox"/>	アレルギー			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

病名

NSAID胃潰瘍の再発の予防  
MT  
開放性眼圧性眼の疑い

診療科  
 内科  外科

入内区分  
 共通  外来  入院

検索

投与日	投与時間	分野名	薬付	報告	報告日	依頼医	入内	依頼科
2010/12/22(水)	11:40	一般生化・血液	受付済	報告済	2010/12/22(水)		外来	皮膚科
2010/12/20(月)	15:51	一般生化・血液	受付済	報告済	2010/12/20(月)		外来	眼科

確定 閉じる

# 4. 実証における利用状況 ~病院(処方箋FAXコーナー 画面イメージ)~

**処方指示情報の発行**

患者さんの情報  
診察券を読み取るか診察券番号を入力して、患者さんの情報を確認して下さい。

診察券番号

氏名  氏名(カナ)

生年月日  性別

郵便番号

住所

電話番号

**管理センターの情報**

管理センターへの登録が完了しました。  
引き続き下記の一覧より処方指示の発行を行ってください。

**処方箋の情報**

対象の処方箋が、本日発行されたものではない場合は、処方日範囲を指定して下さい。

処方日範囲  
 ~

診察券番号	患者氏名	処方日
0009901332	高松 一郎	2011年10月03日

**処方指示情報の発行**

患者さんの情報  
診察券を読み取るか診察券番号を入力して、患者さんの情報を確認して下さい。

診察券番号

氏名  氏名(カナ)

生年月日  性別

郵便番号

住所

電話番号

**管理センターの情報**

この患者さんの情報は管理センターに登録されています。  
引き続き下記の一覧より処方指示の発行を行ってください。

**処方箋の情報**

対象の処方箋が、本日発行されたものではない場合は、処方日範囲を指定して下さい。

処方日範囲  
 ~

診察券番号	患者氏名	処方日	オーダー番号	診療科	処方医師
0009901332	高松 一郎	2011年10月04日	00014581	内科1	香川 太郎
0009901332	高松 一郎	2011年10月04日	00014586	内科1	香川 太郎
0009901332	高松 一郎	2011年10月04日	00014592	内科1	香川 太郎

<患者情報の紐付け画面>

<処方指示薬引換票確認画面>

<処方指示薬引換票>

**処方指示薬引換票**

(調剤薬局用) 00014581

発行日 平成23年10月4日

現在  
「健康情報活用基盤実証事業」を実施しています。  
この処方指示薬引換票は、現在香川県で実証を行っている「健康情報活用基盤実証事業(処方情報の電子化実証)」において、おくなり情報へのアクセスのため必要となるものですから、おくなりを受け取る薬局へご提出下さい。  
くわしくは、別紙をご参照の上、本票は大切に取り扱い下さい。

**番号**

発行者たる医療機関連絡先  
名称 香川大学医学部附属病院  
所在地 〒761-0793 香川県木田郡三木町池戸1750-1  
電話番号 087-899-5111

実証事業にかかる連絡先  
名称 処方情報の電子化医療連携実証事業事務局(代表団体:株式会社STNet)  
所在地 香川県高松市春日町1736番地3  
電話番号 087-887-2404

現在のページ番号: 1 合計ページ数: 1 ズーム率: ページ幅

# 4. 実証における利用状況 ～調剤薬局(画面イメージ)～

<調剤実施情報登録画面>

患者情報

患者No 900000006

会員No タカマツ イチロウ

患者氏名 高松 一郎

性別 女 生年月日 S360520 (50歳)

薬局日 H230830 ~

保険情報

国保51 012345 本人 負担 30 % 有効期限

0 1 2 3 1 2 3 4

① 公費 51123456 12123456 0% 期限 レセプト特記

② 0% 期限

③ 0% 期限

処方情報

処方番号 2000120

処方日 H230830 処方日 H230828 受付時刻 16:25:38

参照情報

医院 オリーブ総合病院 内科 香川 太郎

コード	薬品/服用法名称	使用量	単位	コード	種類	公	薬品名	加算	薬価	使用量	単位	T
2479004	プレマリン錠0.625mg	1錠		プレマリン	内		プレマリン錠0.625mg		12.60	1錠		
2478002	プロペラ錠2.5mg	1錠		プロペラ	内		プロペラ錠2.5mg		29.10	1錠		
101104C	1日1回夕食後	45		=13			分1 夕食後			45日		

マスタ情報

201 薬価単位

52 使用期限年月日:H230831

81 不明 1

Esc 中止 F1 マスタ編集 F2 関連解除 F3 詳細 F4 一時コメント F5 患者 F6 医師 F7 保険 F8 確定 F9

<医師への情報提供内容登録画面>

調剤実施データ送信

患者No. 900000006

患者名 高松 一郎

性別 男 生年月日 S360520 (50歳)

対象処方せん

処方せんID	受付No	医療機関	科目	医師
1	2	オリーブ総合病院	内科	香川 太郎

要確認フラグ

疑義照会コメント

服薬指導コメント

Esc 閉じる F8 送信

# 4. 実証における利用状況 ~患者(自宅など)~



## 患者(自宅など)

### <ポータル画面>

しこく健幸サポートポータル

利用者向けメニュー

ようこそ 高松 一部様

利用履歴を見る

健幸支援

お薬情報を見る [お薬情報を見る](#) [お薬情報を見る](#)

お知らせ

2011.08.01	お知らせ表示領域
2011.07.30	ここはclick-information_personal.htmに書き置き更新します。

LOGOUT

お薬すりカレンダー

2011年10月

日	月	火	水	木	金	土	日
	25	26	27	28	29	30	1
2	3	4	5	6	7	8	
9	10	11	12	13	14	15	
16							
23							
30							

薬名	投与日	薬名	投与日	薬名	投与日
1010	2011/10/04	香川大学医学部附属病院	大人服用薬	ロキソニン錠	×(服用しない)

カレンダー展開された画面から服薬状況を登録

しこく健幸サポートポータル

LOGIN

このQRコードを読み取ります

健幸IruCaによるログイン認証



お薬すりカレンダー

2011年 10月

10月05日

服用した / 服用しない

ロキソニン錠 60mg

服用日時: 1日3回 毎食後

携帯電話から手軽に閲覧・登録



# 4. 実証における利用状況

～おくすりカレンダー(画面イメージ)～

## <おくすりカレンダー画面・服薬状況登録画面(パソコン)>

おくすりカレンダー  
調剤・服薬情報を表示するサービスです。

高松 一郎 様のページご利用ありがとうございます。  
[>引換券から探す](#) | [>病院から探す](#) | [>お薬の名前から探す](#) | [>カレンダーから探す](#)

2011年10月

日	月	火	水	木	金	土
25	26	27	28	29	30	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15

おくすりカレンダー  
調剤・服薬情報を表示するサービスです。

高松 一郎 様のページご利用ありがとうございます。  
[>引換券から探す](#) | [>病院から探す](#) | [>お薬の名前から探す](#) | [>カレンダーから探す](#)

処方されたお薬情報の一覧です。お薬の服用を記録(飲んだ・飲まなかった等)を記録できます。服用の記録は、担当医や薬局に知らせる事ができます。(設定を変更した場合は次の服用登録時、記録送信します。)

番号	調剤日	(医療機関)施設名	薬局名	担当医	薬局
1010	2011/10/04	香川大学医学部附属病院	うどん調剤薬局	<a href="#">O[知らせる]</a>	<a href="#">X[知らせない]</a>

https://wwwsp 2011年10月04日 香川大学医学部附属病院(香川 太郎医師にて処方)・うどん調剤薬局で調剤されたお薬情報です。  
 ◎服用した ×服用していない ■未確認 ●服用予定 背景が白色が入力できます。クリックするたびに◎服用と×服用無が変わります。

No.	お薬名	服用日	10月
-2	PL配合顆粒	朝食後	◎ ■ ● ● ● ● ● ● ● ●
		昼食後	◎ ■ ● ● ● ● ● ● ● ●
		夕食後	◎ ■ ● ● ● ● ● ● ● ●
		服用コメント	1日3回 毎食後
-2	ロキソニン錠60mg	朝食後	◎ ■ ● ● ● ● ● ● ● ●
		昼食後	◎ ■ ● ● ● ● ● ● ● ●
		夕食後	◎ ■ ● ● ● ● ● ● ● ●
		服用コメント	1日3回 毎食後
-2	アストミン錠10mg	朝食後	◎ ■ ● ● ● ● ● ● ● ●
		昼食後	◎ ■ ● ● ● ● ● ● ● ●
		夕食後	◎ ■ ● ● ● ● ● ● ● ●
		服用コメント	1日3回 毎食後
No.	お薬名	服用日	10月
			朝食後

おくすりカレンダー ... 加納

2011年 10月

2011年 10月 10月05日

◎服用 ×服用なし ■未確認 ●服用予定  
 服用した、しないのチェックボックスにチェックを入れ、登録ボタンで登録できます。

PL配合顆粒

朝食後	◎	<input type="checkbox"/> 服用した <input type="checkbox"/> しない
昼食後	■	<input checked="" type="checkbox"/> 服用した <input type="checkbox"/> しない
夕食後	■	<input type="checkbox"/> 服用した <input type="checkbox"/> しない
服用コメント	1日3回 毎食後	

ロキソニン錠60mg

朝食後	◎	<input type="checkbox"/> 服用した <input type="checkbox"/> しない
昼食後	■	<input checked="" type="checkbox"/> 服用した <input type="checkbox"/> しない
夕食後	■	<input type="checkbox"/> 服用した <input type="checkbox"/> しない
服用コメント	1日3回 毎食後	

今日は5日です。  
 お薬情報がありますので、日付をクリックしてください。  
 ※印は服薬もしくは服薬予定です。  
[メニュー画面へ](#)

<携帯電話からの画面>

# 5. 第1回委員会での指摘事項に対する回答

前回委員会の指摘事項	対応状況
<p>医療・健康情報の管理の在り方についての検討。            (情報の蓄積方法(分散型・集中型)について、分散型の管理形態において各機関の保有情報を同期するタイミングについて、情報の保存期間について)</p>	<p>情報蓄積について、香川は集中型のシステムにて構築しています。システムの設置箇所は、各種ガイドライン※1要件に適合している民間データセンターに設置し運用をしています。            実証期間中のデータを保持するとともに、継続的なサービス提供を行う場合の保管年限については、サービスレベル等の議論に含めて検討を行っていきます。</p>
<p>調剤情報について、沖縄県浦添市で実施した健康情報活用基盤実証事業で使用された技術仕様を活用することについての検討</p>	<p>沖縄県浦添市で実施した健康情報活用基盤実証事業で使用された標準形式に可能な限り合わせて構築しました。</p>
<p>pdf,txt,xls,doc等の電子データにおけるウイルス感染対策及びモバイル端末における情報流出リスクへの対策についての検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウイルス対策については、サーバ側によるウイルスチェックにより対策を行っています。</li> <li>・モバイル端末からの情報流出リスクについては、携帯端末へのパスワードロックを推奨する等の対策を行う予定です。</li> <li>・また来期以降、より高いセキュリティ確保及び情報参照手法の高機能化に向けた携帯専用のおくすりカレンダーアプリの対応等の検討を行っていきます。</li> <li>・一方で、有事の際に情報へのアクセス手段が遮断された場合の担保として、携帯端末等のデバイス側にてセキュリティを確保できる機能を有している場合に、端末内にデータを保持すべきとの意見もあり検討しております。</li> </ul>
<p>技術仕様について、現在どういったものが標準化され、どこまで使えるのかについての整理</p>	<p>事業企画書及び成果報告書にて取りまとめて行きます。</p>
<p>患者における利便性向上の視点を検証項目に入れることについての検討</p>	<p>アンケートやヒアリング項目について、利便性について検証可能な項目を盛り込みます。</p>

※1 厚生労働省「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン第4.1版」  
 総務省「ASP・SaaS事業者が医療情報を取り扱う際の安全管理に関するガイドライン第1.1版」等

# 6. 実証事業全般における課題等について

浮上している課題		方向性
システム面	① 医療機関及び調剤薬局の電子カルテ及び調剤レセコンシステムとのインターフェースの取り方。	沖縄県浦添市にて実施した健康情報活用基盤実証事業にて策定された標準形式に則り進めてきましたが、本実証で行った標準形式を③や④の展開において引き続き活用していきます。
	② 服薬管理について、現状内服薬の管理からスタートしているが、外用、頓用の薬への対応方法	外用、頓用時の用法においてのおくすりカレンダー上での表現方法についてよく練った議論の上で展開する必要があります。
	③ 本実証事業のようなデータ連携が可能な調剤レセコンベンダーの更なる増加対策	現在、香川地域で調剤薬局の導入率が高い調剤レセコンベンダーの参加を調整していますが、多数のベンダーに対応頂く為、勉強会・検討会等の開催をタイミングを図りつつ、検討しています。
運用面	④ 調剤薬局の参加促進方法について ・対応する調剤レセコンベンダー及び参加医療機関の拡大	③または⑤の対策を行いつつ、調剤薬局からの医療機関への声掛けを強化していく手法を検討していきます。
	⑤ 医療機関側の参加メリットの拡大	調剤実施結果または服薬状況の確認の他に、持参薬やOTCの確認・管理が可能な仕組みを検討していきます。
	⑥ 患者への実証参加促進、服薬登録率の向上手法	本実証の取り組みにおける意義やおくすりカレンダーが日常にどう役立つか等のセミナー、公開講座等の開催を検討していきます。
	⑦ 共同利用型健康情報活用基盤としてのあり方	処方情報の電子化及びお薬カレンダーをコンテンツとして今年度は実施していますが、基盤としてどのような機能が必須であるか、どう活用するか、次に展開すべきサービスコンテンツの検討等、地域に根付く、標準的な健康情報基盤としてのあり方を検討していきます。

# 7. (参考)実証事業における検証項目

## ○ 機能評価検証

実施項目	実施内容	検証項目
(1)処方情報の電子化に関する検証	実証実験から得られた知見を元に、医療機関を中心とした健康情報活用基盤を広く展開するための指針のとりまとめを実施する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・処方情報の電子化、ネットワーク連携によるかかりつけ薬局としての機能向上</li> <li>・データの標準化・コード化への対応及び対応における課題の検討・抽出</li> <li>・病薬連携のさらなる推進</li> </ul>
(2)処方・調剤情報に関する検証	医療機関や薬局等から提供された情報(処方情報、調剤情報等)が健康情報活用基盤を介して共有、アプリケーション等との連携が可能であることを検証すると共に、情報連携による効果及び利便性について検証する	
(3)共同利用型健康情報活用基盤の機能に関する検証	共同利用型健康情報活用基盤を構築し、複数の地方公共団体による共同利用・運用の有効性、将来性、課題等を抽出すると共に、情報セキュリティ、ユーザビリティ、相互連携性等の観点から機能を検証する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共同利用型健康情報活用基盤のあり方の検討</li> </ul>
(4)地方公共団体や医療機関等が保持している情報と健康情報活用基盤との情報連携に関する検証	地方公共団体や医療機関等から提供された情報(特定健診情報、診療情報等)が健康情報活用基盤を介して共有、アプリケーション等との連携が可能であることを検証すると共に、情報連携による効果及び課題について検証する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データの標準化・コード化への対応及び対応における課題の検討・抽出</li> <li>・共同利用型健康情報活用基盤のあり方の検討</li> </ul>
(5)健康情報活用基盤の普及展開に向けた指針の取りまとめ	実証実験から得られた知見を元に、医療機関を中心とした健康情報活用基盤を広く展開するための指針のとりまとめを実施する	

# 7. (参考)実証事業における検証項目

## ○ 定性的効果検証

主体	検証項目
(1)共通	<ul style="list-style-type: none"><li>① 1日当たりのEHRの平均参照件数</li><li>② 閲覧する医療・健康情報の具体的内容及び参照目的</li><li>③ 処方情報の電子化がもたらす従来と比較した場合のメリット及び利便性の向上</li><li>④ EHR利用に対する課題</li><li>⑤ 今後のEHRの継続利用希望割合</li></ul>
(2)医療機関	<ul style="list-style-type: none"><li>① 処方・診療履歴が継続して参照可能となることによる医療の質の向上</li><li>② 患者の服薬履歴が参照可能となることによる、医療の質の向上</li></ul>
(3)調剤薬局	<ul style="list-style-type: none"><li>① 処方・診療情報が参照可能となることによる、服薬・健康指導の質の向上</li><li>② 他の調剤薬局での処方情報の参照による、重複投薬や飲み合わせによる副作用回避可能性</li></ul>
(4)地方自治体	<ul style="list-style-type: none"><li>① EHRへの参画目的及びその成果(被保険者の行動変容など)</li></ul>
(5)その他保険者	<ul style="list-style-type: none"><li>① EHRへの参画目的及びその成果(被保険者の行動変容など)</li></ul>
(6)患者	<ul style="list-style-type: none"><li>① EHRの利用者数(自身の情報閲覧、医療機関での情報提示別に)</li><li>② EHRによる医療機関のサービスの満足度</li><li>③ お薬手帳の参照・記載による健康増進効果</li></ul>
(7)匿名化された健康情報の疫学的活用	<ul style="list-style-type: none"><li>① 処方・調剤・服薬情報の集積によりアレルギー・救命救急などへの再利用性</li><li>② 疾病と投薬効果の研究</li></ul>

# 7. (参考)実証事業における検証項目

## ○ 定量的効果検証

主体	検証項目
(1)医療機関	<ul style="list-style-type: none"><li>① 医療機関における重複検査等の減少率</li><li>② 患者当たりの平均入院・在院日数の短縮率</li><li>③ 患者当たりの平均受診時間の減少率</li><li>④ ①～③ごとの医療費の減少率</li></ul>
(2)調剤薬局	<ul style="list-style-type: none"><li>① 日本版EHRを参照することで発覚して重複調薬等を回避した件数及び相当額</li><li>② 調剤薬局における処方情報の入力ミスの減少率</li><li>③ 調剤薬局における処方情報の入力時間の減少率</li></ul>
(3)地方自治体	<ul style="list-style-type: none"><li>① 特定保健指導対象者など新規認定者数の減少率</li><li>② 医療費の減少率(保険者としての医療費、自治体全域での医療費)</li></ul>
(4)その他保険者	<ul style="list-style-type: none"><li>① 特定保健指導対象者など新規認定者数の減少率</li><li>② 医療費の減少率(保険者としての医療費)</li></ul>
(5)患者	<ul style="list-style-type: none"><li>① 慢性疾患患者などのバイタルデータ(例:血圧、血糖値など)の改善率</li><li>② 慢性疾患患者などの重症化防止による疾患罹患率の減少率</li><li>③ 慢性疾患患者などの重症化防止による救急対応件数の減少率</li><li>④ ①～③ごとの医療費の削減率</li><li>⑤ ①～③ごとに、EHRに参画した者と参画していない者のデータの差異</li></ul>